




久米廃寺出土塑像仏及び埴仏



指定区分	県指定重要文化財(考古資料)
読みかた	くめはいじしゅつどそぞうぶつおよびせんぶつ
所在地	津山市山下 津山郷土博物館
指定年月日	令和2年3月13日
解説	<p>7世紀の寺院跡で、津山市宮尾に所在する久米廃寺(県指定史跡)で出土した遺物である。</p> <p>塑像仏は小片であるが、様々な種類がある。螺髪(らぼつ)は如来像の存在を示す。また、頭髮や顔面、臂釧(ひせん)、指先、裳(も)や裙(くん)といった衣装、胸甲等があり、複数軀の像の存在が分かる。頭髮は菩薩像の、胸甲は天部像の存在を示す。塑像仏の出土は県内でも限られ、特に菩薩像や天部像は本遺跡の確認にとどまる。7世紀の地方寺院の信仰形態を考えると重要で、造形のすばらしさは中央との繋がりを示唆し、学術研究上で貴重である。</p>
アクセス方法	<ul style="list-style-type: none"> ・JR津山駅から徒歩15分 ・中国自動車道 津山、院庄各ICから車で15分
公開状況	<p>開館時間/午前9:00~17:00(入館は16:30まで)</p> <p>休館日/月曜日、祝日の翌日、12月29日~1月3日、その他</p>
設備	<p>駐車場 </p> <p>トイレ </p> <p>障害者用トイレ </p>
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要文化財(考古資料)
ぶんかざいめい (文化財名)	久米廃寺出土塑像仏及び埴仏
よみかた	くめはいじしゅつどそぞうぶつおよびせんぶつ
しょざいち (所在地)	津山市山下 津山郷土博物館
とうろくしたひ (登録した日)	令和2年3月13日
せつめい	7世紀の寺院跡で、津山市にある久米廃寺で出土したものです。塑像物(そぞうぶつ)は小さいですが、様々な種類があります。7世紀の地方寺院の信仰形態を考えると重要であり、学術研究上で貴重なものです。